

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	森の寺子屋事業		
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 絆 JAPAN 諏訪郡原村 16267-521		
事業区分	3)教育、文化の振興 4)安全・安心な地域づくり		
事業タイプ	ハード・ソフト		
総事業費	2,042,098 円	(うち支援金)	518,000 円

事業内容

不登校の小中学生を対象に、自然環境の中で自然体験、遊び、救急救命、ボランティア体験を通じて学びの場を提供し、集団生活や人間関係の構築、コミュニケーション能力の向上に寄与し、子ども達の健全育成に繋げた。また、他団体との交流や地域との交流、保護者向けワークショップを行い、社会的視野の向上に寄与し、様々な学びを提供した。



(活動写真)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

支援金を活用して 様々の専門分野のエキスパートを呼び 子ども達にその経験から新たな学びを提供して貰った。

当初 なかなか人見知りだった子どもが、参加を重ねる事により 人の輪に溶け込み多くの友達を創り出す様になった。参加児童が、自分達でルールを決め 遊びやゲームを創作した。

自然環境の中で伸び伸び活動し、創意工夫や積極的参加が見られた。

雨天及び冬場でも活動出来る施設の整備が出来た。

茅野市の小学校3校が児童の参加日を登校日として認めてくれた。

進学を目指して、学校へ行く児童も2名あった。

【目標・ねらい】

- ① 自然環境の中での自然体験
- ② 遊び・救命救急・ボランティア体験を通しての学び
- ③ 集団生活や人間関係の構築
- ④ コミュニケーション能力の向上

※自己評価 【 B 】

【理由】小学校3校で、森の寺子屋参加は登校として扱って貰える様に成った。

季節によって参加数に変動したが最終的に登録者が25名に増え、常時5名~15名の参加があった。

今後の取り組み今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

不登校の子どもを対象に、自然環境の中で自然体験、遊び、救急救命、ボランティア体験等を通じて学びの場を提供し、集団生活や人間関係の構築、コミュニケーション能力向上に寄与し、子ども達の健全育成に繋げる。

又 他団体との交流や地域との交流、保護者向けワークショップを行い、社会的視野の向上に寄与する。

親子でのイベントを増やし、家庭内の人間界をより良好にする。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある